

之間

No.2314

題字/武田秋雲

50歳で 東大に入学した 安政真弓さん

ちょうど5年前、50歳で東大に合格した主婦。のニュースが、世間にさわせたことを覚えているだろうか。安政真弓さんが、1年間のフランス留学を経て、伝統のガウンを翻しながら、卒業を迎えた。受験を決めたあの日に人生が100度変わった。お金にも環境にも、決して恵まれていたわけじゃない。それでも50歳で単身上京し、東大生となつた。本当の理由は――。

「東大受験のとき、私の前の席に座っていたのが、ママさん。ビックリしました。10代の受験生のなかで、すごく目立っていましたから!」

5年前、50歳で東大に合格した主婦。として話題になつた安政真弓さん(55)。「ママさん」とは、東大の同級生のあいだでの彼女のニックネームだ。同級生のじゅんさんは、(23)は、初対面の印象を笑顔で振り返る。

「ママさん」のことを話します。『お母さんと同世代の人があいたのよ!でも、普通に東大を受験するくらいだから……もしかして老けて見える30代かな?』って(笑)同じく5年前の教室の様子を語つてくれたのは、同級生の真武新太さん(23)。

「安政さんは、世代を超える30代かな?』って(笑)同じく5年前の教室の様子を語つてくれたのは、同級生の真武新太さん(23)。

「安政さんは、世代を超えた友人なので率直に言います

が、最初は『どうしてクラスにおばさんが一人交じつてい

るんだ』と思いました(笑)

もっと驚いたのは、彼女が

(東京西部)三鷹市の東大

55歳で、また卒業。

まだ、
まだ、
まだ!



ミスティック

母の留学先を訪ねた息子たちは世界体を忘れることのできるフランスで母が日本以上に生き生きと生活していることを喜んだ



母の留学先を訪ねた息子たちは世界体を忘れることのできるフランスで母が日本以上に生き生きと生活していることを喜んだ

その集中力は本当にすごい」
次男の東大不合格を機に、
安政さんは49歳で自ら東大受
験を決意。50歳での合格へと
つながったのである。

こうして、母と次男が東京、
父と長男が姫路という、家族
別々の生活が始まる。早稲田
大学政治経済学部へ通うこと
になった玲二郎さんが言う。

冒頭の同級生たちの証言と
53歳の苦学生、フランスへはばたく

昨年、東大生の家庭は高収
入という報道が盛んだった。安政
さんもさぞ恵まれた環境の主
婦なのだろうと想像している。
大学の授業料は完全免除。こ
の制度は年齢に関係なく、条
件さえクリアすれば誰でも受
けられます。さらに日本学生
支援機構の奨学金を月額およ

「あなたは私がいいな」と不平
に叫ぶ。玲二郎さんは、家に
いることより、もっともっと
勉強していた。それも前より
ずっと、楽しそうに。息子な
がらすごいと思いました」

「東大生になつた母は、家に
いることより、もっともっと
勉強していた。それも前より
ずっと、楽しそうに。息子な
がらすごいと思いました」

おり、安政さんは、入学後も
たゆまぬ努力を続ける。3年
の専攻進級時には上位1割に
入る好成績を収め、希望して
いた「教養学部教養学科地域
文化研究分科イタリア地中海
研究コース」に進級。フラン
スへの交換留学生の椅子をも
勝ち取った。

さ寒さの厳しい時期は吉祥寺
のファストフード店に避難。
して勉強していました」

さらに、フランス留学も交
換留学だったため、授業料は
免除。留学中は交換留学生に
与えられる返済不要の奨学金
を受けている。

「苦学生」そのものの毎日は、
楽しくてしかたなかった。特に
3年生のときに実現した
フランス・ストラスブール大
学への留学時には、美しい街
並みを歩きながら、またラテ
ン語の授業を受けながら、折
にふれて夢がかなった感慨に
浸つた。

「私は、本当にフランスにい
るんだ!」と、しおりゅう
感動していました。昔から、
いつかは好きなヨーロッパに
住みたいと思っていたのが、
50歳を過ぎてかなうなんて。
若いころより、学べることが
もっとうれしくて。もう「い

存在だった。
「自分が母にされていたよう
に、息子を支配しようとして
いたのかもしれません。息子
もわりとできがよく、幼稚園
から二次関数の方程式を解か
せていました。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
35歳の、ママ友になっ
たAさんが、安政さんの母に
そくりだった。最初はふつ
うに仲よくしていたが、次第
に何をするにも安政さんに命
令し、支配しようとするよう
になつた。

「なぜ、私はAさんの言うこ
とを聞いてしまうんだろう。
もう彼女が怖くて、そんな自
分も恐ろしくて……。誰かの
手を借りようと、心療内科に
駆け込んだんです」カウンセリングを重ねるう
ちに、医師はこう言った。

がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしましました。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしまつた。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしまつた。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしまつた。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしまつた。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまうことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしまつた。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまうことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

また、次男が幼稚園に入っ
てしまつた。やりすぎで
すよね。「将来、孫が東大で
入れば母が喜ぶ」という考え
がどこかにありました。息子には、

「あなたの問題の根本は、A
すまうことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

**正賞 シエラザード像
副賞 500万円**

2017年5月10日締切 [当日消印有効]

[選考委員]

篠田節子
若竹七海

綾辻行人
朱川凌人



募集記録
種目 ● 広義のミステリーで、日本語で書かれた
自作未発表の小説。

枚数 ● 400字詞原稿用紙換算で350枚から
600枚まで。

発表 ● 2017年10月下旬(予定)の選考終了
後、発表。「小説宝石」2017年12月号

誌上に結果・選評を掲載。

賞 ● 正賞 シエラザード像
副賞 500万円

宛先 ● T.71-0014
東京都豊島区池袋3-1-2
光文社ビル内
光文文化財団文学賞係

※詳細はホームページをご参照ください。

主催 / 光文文化財団
tel. 03-3986-3024
http://www.kobunsha.com

(66)

日本ミステリーアート賞 新新人賞

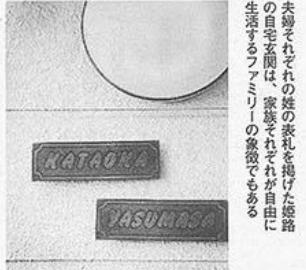
第21回
作品募集



次男の玲二郎さん(写真左)と一緒に
東大生になる夢はかなわなかったが、
東京在住の大学生同士でよく食事をする



32歳年下の同級生、真武さんと卒業
記念ディナー。「環境のせいにして言
い訳しない安政さんの今後に期待!」



夫婦それぞれの姓の表札を掲げた懐の物
の自宅玄関は、家族それぞれが自由に
生きてるアーミリーの象徴である

がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すまないことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すまうことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。
この言葉が、ストンと肺に響
いてしまつた。母が喜ぶかどうか
がどこかにありました。息子には、
「あなたの問題の根本は、A
すますことをしてしまった」
このころに、自分の行動基
準がすべて「母が喜ぶかどうか」
にあることに気づいた。

「あなたの問題の根本



卒業後は姫路の家に戻り夫と2人で暮らす。
そして戯曲執筆という新たな夢にチャレンジ!
「4月1日から執筆開始と決めています」

人間ズクリーズ

「息子たちと、クリスマスはストラスブールで、お正月はパリで迎えました。留学時代母に起きていた変化を、息子たちもまた見逃さなかつた。玲二郎さんが言う。

「誰にも遠慮のいらない海外の留学先では、母は日本にいるときより生き生きとして見えた」

息子たちは、姫路にいた

「母が実母との葛藤を通じて、日本社会ならではの『世間』という名の重圧に苦しんでいたことを知っている。また、友人から『夫婦別姓なんて変わってるね』と言われても、自立した個々の人間である生き方を貫く両親を誇りに思っていたと語る息子たち。姫路に残された形となつた悠一郎さんも、

「母が上京したあとは、料理も自分で作るようになりまし

たが、負担に感じたことはま

たが、じゅんさんの母親

「まあ! また、おきれいになりましたね」

「おきれいなのは、本当にや

が驚きの声を上げた。

じゅんさん母子とは入学当

初から親交があり、この日は卒業式を控えてのランチ会。

ろ、母が実母との葛藤を通じて、日本社会ならではの『世間』という名の重圧に苦しんでいたことを知っている。また、友人から『夫婦別姓なんて変わってるね』と言われても、自立した個々の人間である生き方を貫く両親を誇りに思っていたと語る息子たち。姫路に残された形となつた悠一郎さんも、

「母が上京したあとは、料理も自分で作るようになりまし

たが、負担に感じたことはま

たが、じゅんさんの母親

「まあ! また、おきれいになりましたね」

「おきれいなのは、本当にや

が驚きの声を上げた。

じゅんさん母子とは入学当

初から親交があり、この日は卒業式を控えてのランチ会。

に就く玲二郎さんは、自分の将来についてこう語った。『いずれ自分が家庭を持つときも、うちみたいに一人一人がやりたいことを自由にできることを、ママさん』

『いいぞ! つくりたいです』

家族にはいろんな形がある。

離れていても、お互いを思

う、支え合うことができる。

安政さんの思いは、息子た

ちに確実に伝わっていた。

安政さんによると、『私は東大入學後も、共依存

を引きずっていました。突然

バニックになり、キャンパス

内のクリニックに駆け込んだ

こともあるし、カウンセリン

グや授業も受けている、フラ

ンスにも薬を持参しました。

それが、東京で生活し、勉

強に没頭するなかで、私はも

うだいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れられない光景がある。

「ファーストフード店でばつたりお会いしたとき、それはもう真剣に教科書に向かって。その姿には驚きましたが、

今ではうらやましい。ママさんを見ていて、私も好きなことを始めようと決めたんです」

じゅんさんが、大きくなづきながら続ける。

「好きな道は、どんなことでも諦めないでチャレンジすべ

きということを、ママさん

に教わった。どんな環境

で、それをやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

いう言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に帰ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章

を、未来に向かって紡ぎ出す。

『いいじょうぶ』とふと実感

できました。もう母の目も、

周囲の視線も気にしなくていい

まう。話題というのも、老後や介護の話ばかりになつて、いまも忘れない光景がある。

『夫の『帰つてほしい』と

いふ言葉で、姫路に戻ることを決めました。その決断で逆

に、本当にやりたことが見えてきた。卒業執筆を通じて、

書きたいテーマも決まりました。姫路に戻ったら、時間も

夢のようにありますから!』

新たな人生の挑戦を支える

のも、5年間で得た体験だ。

『入学するまでまったく使えなかつたパソコンも、5年間

で原稿を打てるまでになりました。ブラインドタッチならぬ。人さし指タッチ。で、4

月1日から書き始めます!』

55歳の東大卒業は、まだま

だ終着点ではない。

ダイニングテーブルの『人

さし指タッチ。から、新たに

生まれる物語。清新の一章